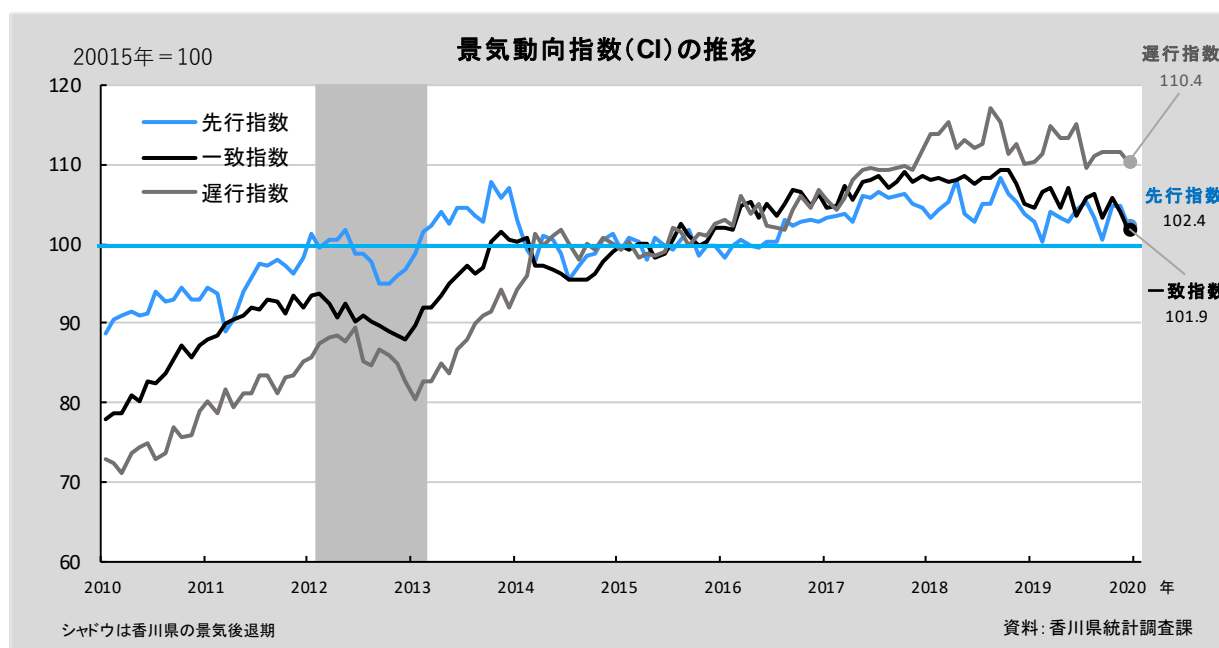


概況	景気は、一部で弱めの動きがみられ 今後新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念される。
個人消費	一部で弱めの動きとなっている。
住宅投資	減少傾向となっている。
公共投資	緩やかに増加している。
生産活動	足下では横ばい圏内で推移しているが、一部で弱めの動きとなっている。
雇用情勢	好調に推移している。
貿易	輸出入とも横ばい圏内の動きとなっている。
観光	足下では弱含んでいる。

景気動向指数(かがわ CI) 先行指数 2カ月連続下降



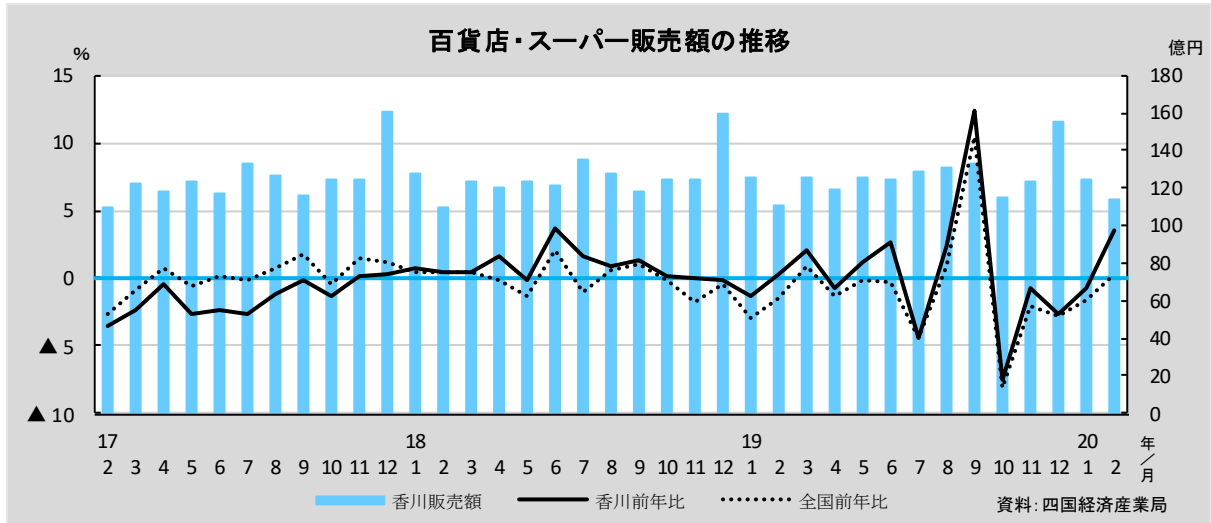
景気の現状をみると、1月のCI一致指数は101.9（前月比▲2.3ポイント）と2カ月連続で下降。CI先行指数は102.4（同▲2.5ポイント）と、3カ月ぶりに下降。CI遅行指数は110.4（同▲1.2ポイント）と5カ月ぶりに下降。

景気の先行きを示す先行系列の個別指標では、新規求人数、金融機関貸出残高、新設住宅着工戸数等が下降に寄与したことにより、前月から2.5ポイント下降した。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 1.96	1 雇用保険受給者実人員	0.26	1 常用雇用指数	▲ 0.41
	2 乗用車新車登録台数	0.53	2 有効求人倍率	▲ 1.47	2 有効求職者数	▲ 0.01
	3 鉱工業在庫率指数	1.15	3 所定外労働時間指数	▲ 0.76	3 消費者物価指数	▲ 0.59
	4 生産財生産指数	▲ 0.26	4 鉱工業生産指数	▲ 0.67	4 家計消費支出	▲ 0.06
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.62	5 鉱工業出荷指数	0.23	5 鉱工業在庫指数	▲ 1.41
	6 金融機関貸出残高	▲ 1.28	6 建築着工床面積	▲ 0.36	6 法人事業税調定額	▲ 0.11
	7 消費者態度指数	▲ 0.09	7 百貨店・スーパー 既存店販売額	0.43	7 第3次産業活動指数	1.33

●百貨店・スーパー販売額

5カ月ぶり増加 ↑



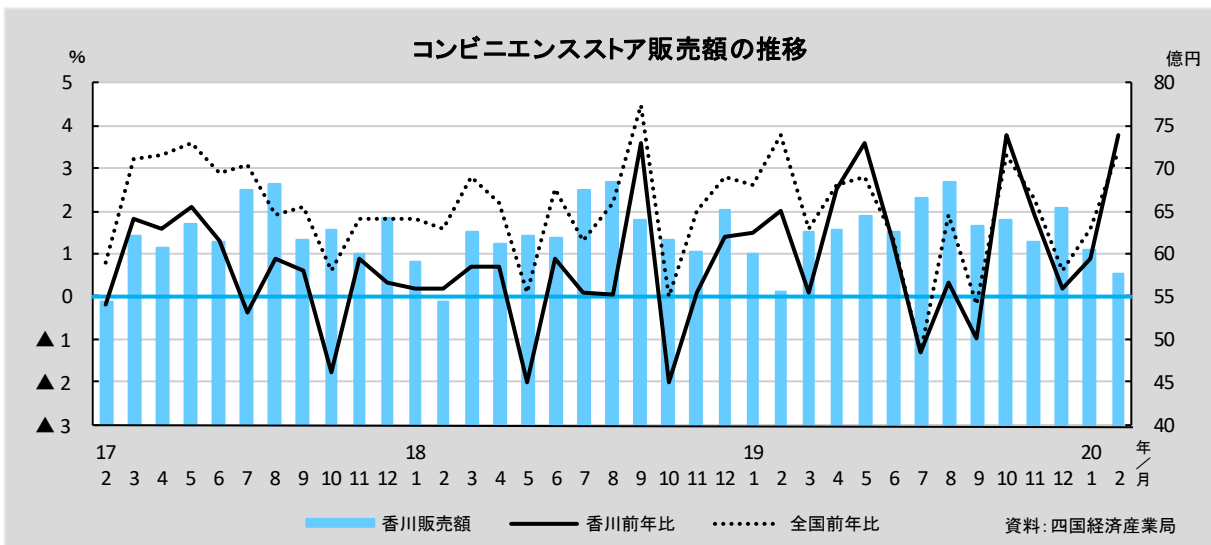
2020/2月	衣料品	身の回り品	飲食物品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	96,835	49,230	818,467	1,208	5,226	59,630	110,004	840	1,141,440
前年同月比(%)	▲ 8.1	▲ 5.0	4.8	▲ 27.1	▲ 9.6	8.1	9.2	▲ 8.4	3.5

2月の百貨店・スーパー全店（64店）の販売額は114.1億円で前年同月比+3.5%となった。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、スーパーで衛生用品などの買いだめの動きが生じ、5カ月ぶりに増加した。

品目別にみると、「飲食物品」は冷食や総菜などが伸び、同+4.8%となった。「その他の商品」は、マスクや除菌剤などの需要増で同+9.2%となった。

●コンビニエンスストア販売額

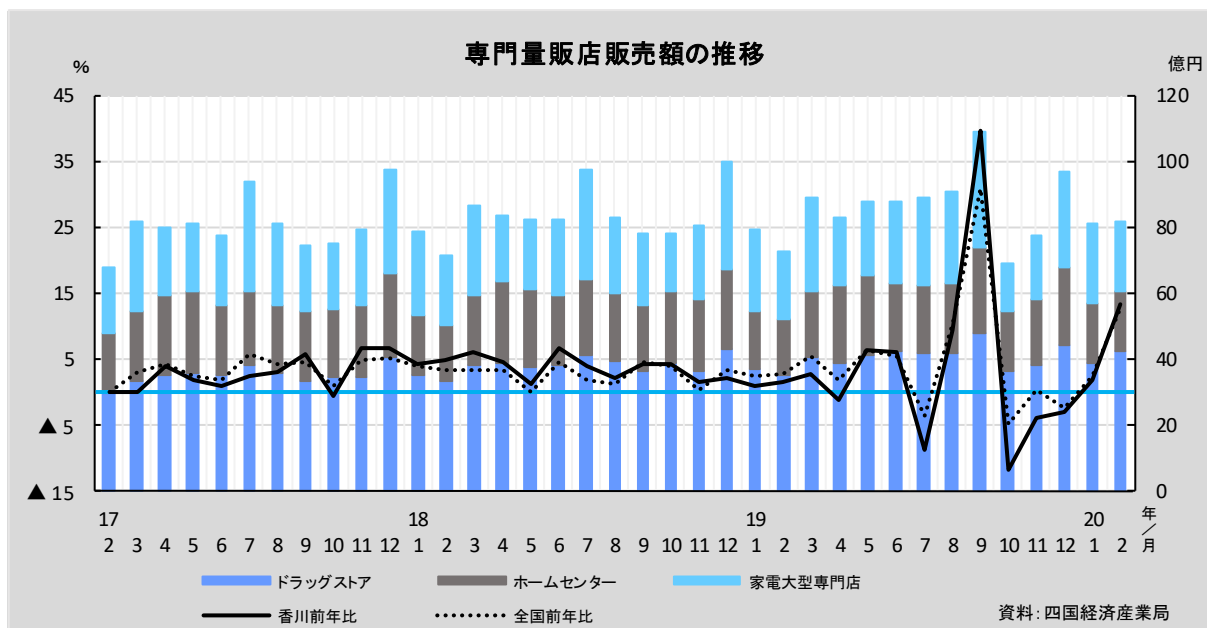
5カ月連続増加 ↑



2月のコンビニエンスストア全店（404店）の販売額は57.7億円で、前年同月比+3.8%と5カ月連続で増加した。

● 専門量販店販売額

2 カ月連続増加 ▲

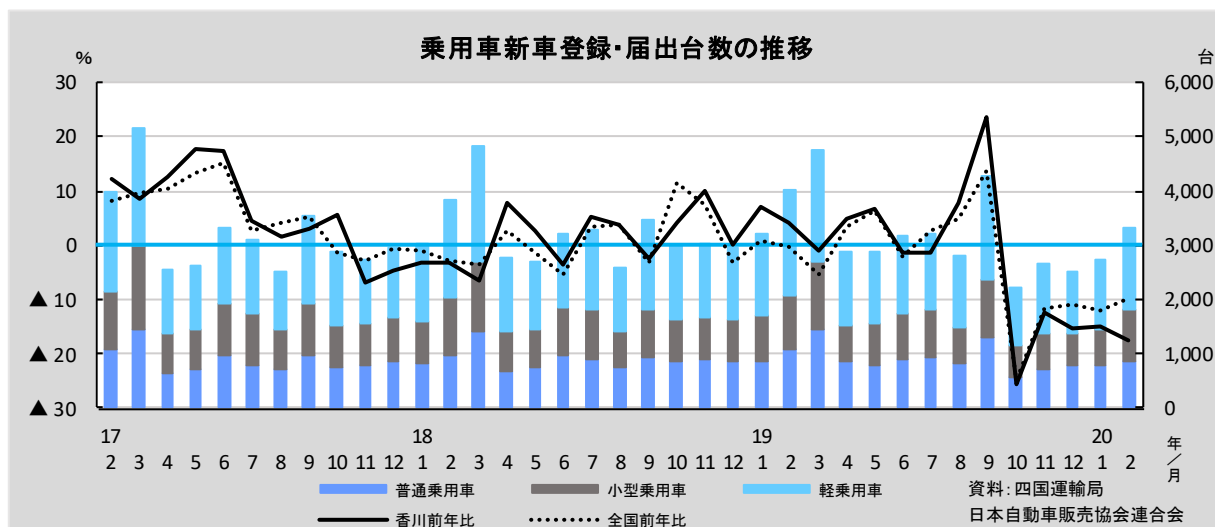


2月の専門量販店全店（198店）の販売額は82.1億円で、前年同月比+13.2%と、2カ月連続で増加した。

業態別にみると、パソコンやテレビの動きがよく家電大型専門店（29店）の販売額は21.7億円で前年同月比+6.4%となった。新型コロナウイルス感染予防策としてマスクや除菌剤などが好調でドラッグストア（127店）の販売額は42.2億円で同+19.2%。ホームセンター（42店）も同じく衛生用品が好調で、販売額は18.2億円で同+8.9%となった。

● 乗用車新車販売台数

5 カ月連続減少 ▼



2月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,311台で、前年同月比▲17.6%と、5カ月連続での2ケタ減少となった。消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染拡大による販売店来客数の減少が影響した。

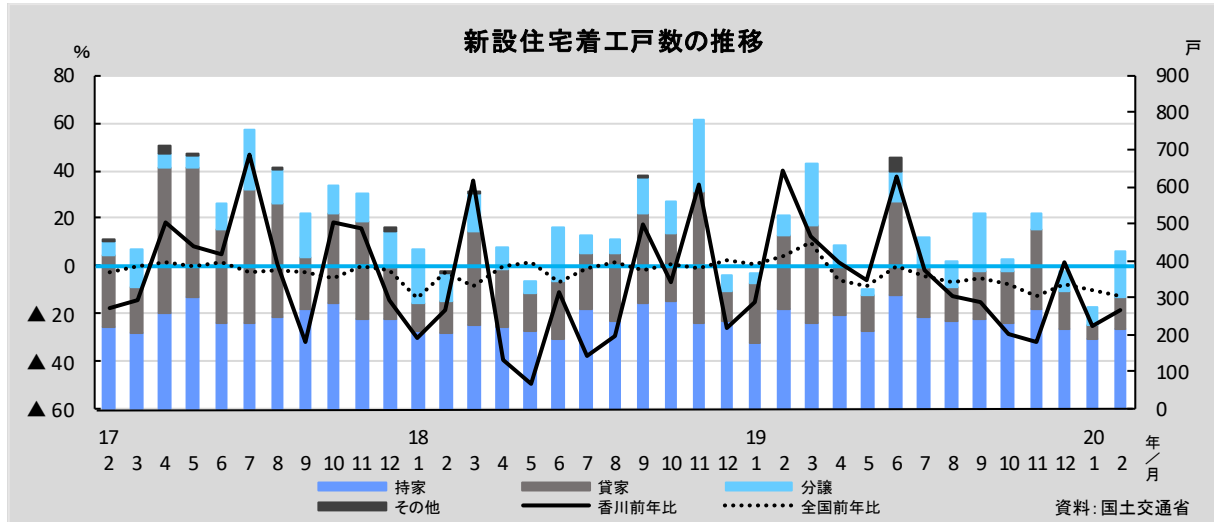
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲19.5%、小型乗用車で同▲2.7%、軽乗用車で同▲23.9%となった。

住宅投資

減少傾向となっている

●新設住宅着工

2 カ月連続減少



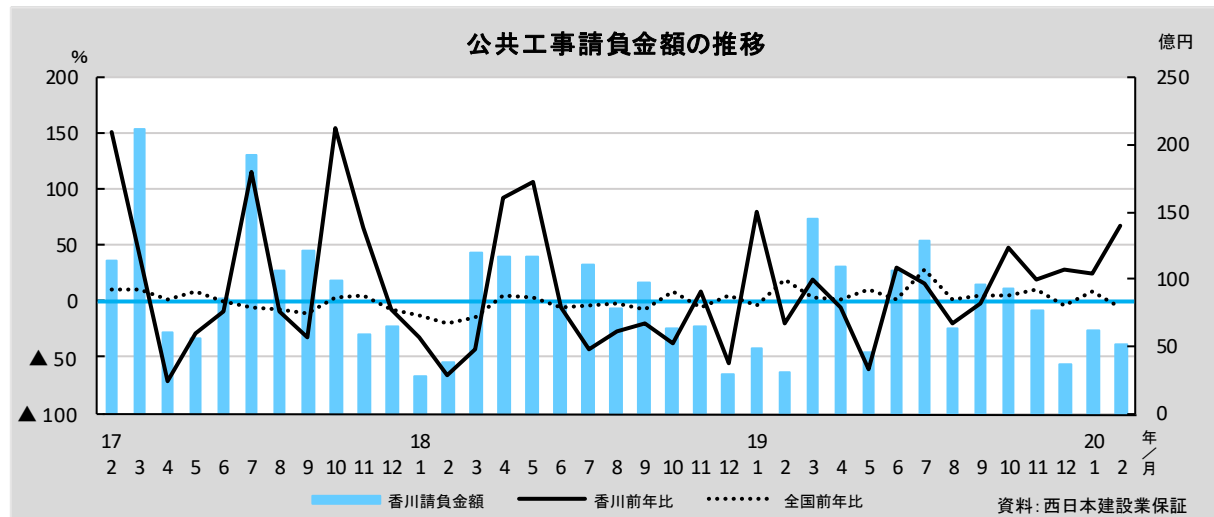
2月の新設住宅着工戸数は426戸で、前年同月比▲18.1%と、2カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲20.6%、**貸家**で同▲55.7%、**分譲住宅**で同+129.6%となった。

公共投資

緩やかに増加している

●公共工事請負金額

5 カ月連続増加



2月の公共工事請負金額は51.0億円で、前年同月比+67.3%と、5カ月連続で増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲33.3%、**県**で同+58.5%となった。

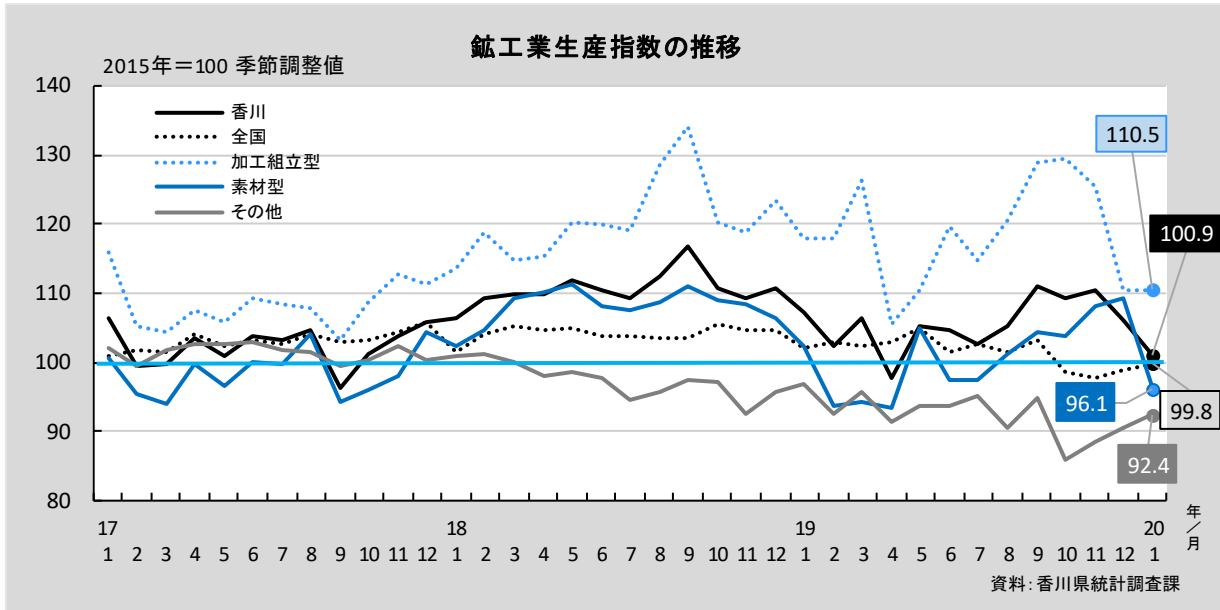
2019年度2月までの年度累計では前年同期比3.9%増加している。

生産活動

足下では横ばい圏内で推移しているが、一部で弱めの動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2カ月連続低下 ↓



1月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は100.9（前月106.1）となり、2カ月連続で低下した。

業種別では、素材型の非鉄金属工業（電気金）前月比▲22.1%、化学・石油石炭製品工業（医薬品）が同▲14.5%と低下した。

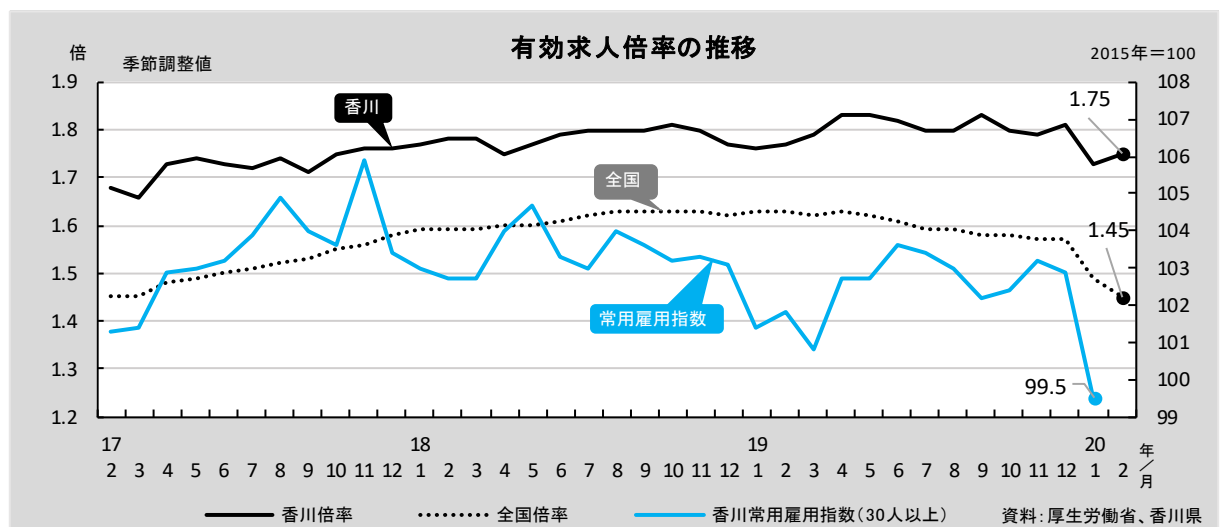
一方、加工組立型の輸送機械工業（船用ディーゼル機関・鋼船）は同+4.2%と上昇。

雇用情勢

好調に推移している

● 有効求人倍率

2カ月ぶり上昇 ↑



2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.75倍（全国6位）と前月より0.02ポイント上昇した。

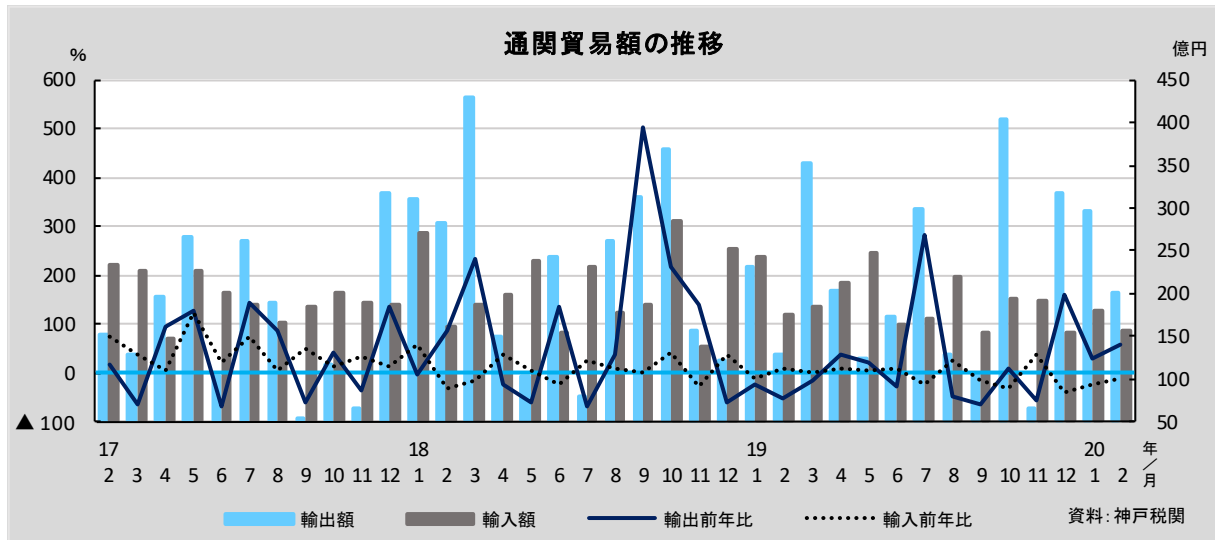
新規求人（原数値：前年同月比）は、医療・福祉、建設業等が増加し、サービス業、製造業等で減少となり、全体で3.5%減と2カ月連続で減少した。

1月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、99.5となり、前年同月比は6カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.59
事務的職業	0.74
販売の職業	2.69
サービスの職業	3.94
生産工程の職業	2.32
輸送・機械運転の職業	2.91
建設・採掘の職業	7.61
運搬・清掃・包装等の職業	1.12

貿易

輸出入とも横ばい圏内の動きとなっている



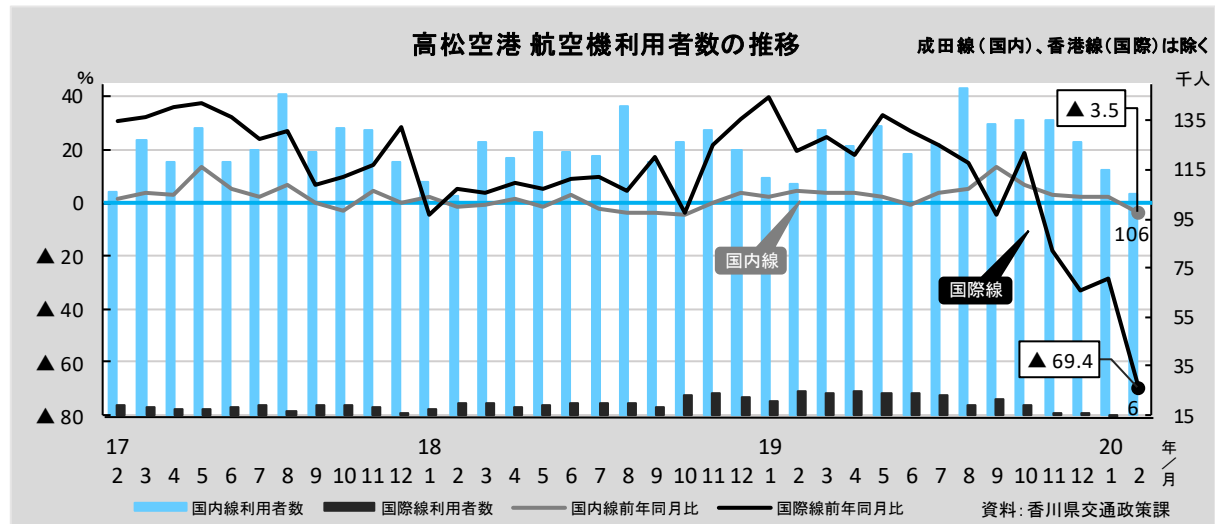
2月の輸出額は前年同月比+55.7%の200.7億円、輸入額は同▲10.8%の156.3億円となり、差し引き44.4億円の出超となっている。

輸出額増の主因は、前年同月では0.3億円だったタンカー輸出額が78億円となったためである。輸入額減の主因は、石炭輸入額が前年同月比▲46.9%の40億円となったためである。

交通

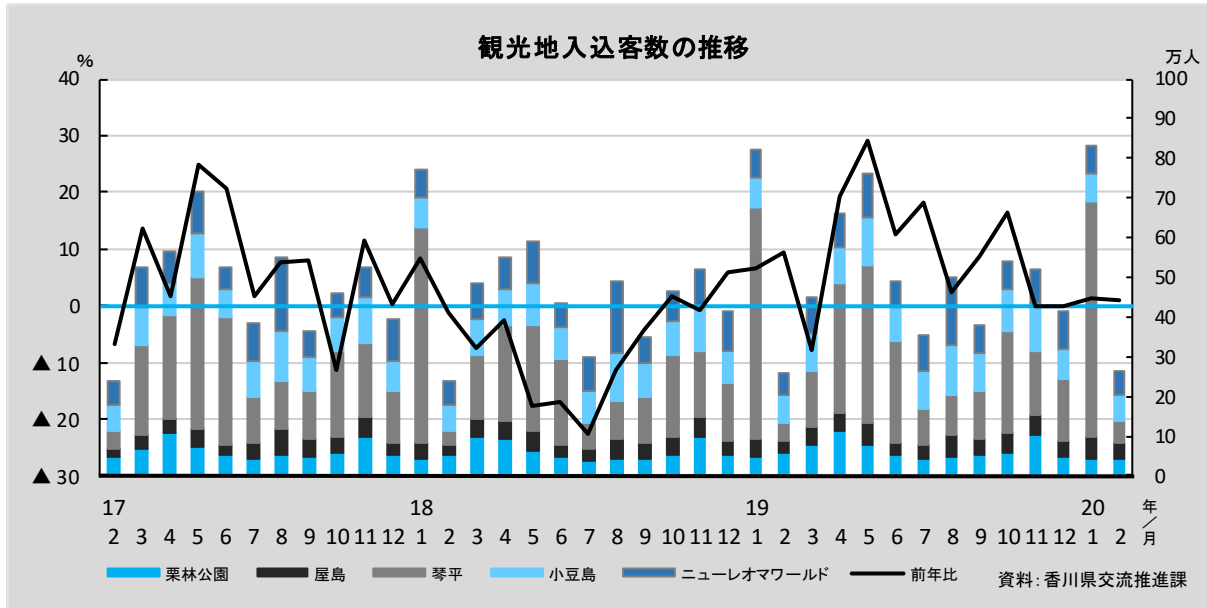
国内線は堅調、国際線は3カ月連続減少

●高松空港旅客輸送実績



2月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が105,586人(前年同月比▲3.5%)となり、8カ月ぶりに減少した。国際線(ソウル・上海・台北線)は6,321人(同▲69.4%)となり、4カ月連続で減少した。新型コロナウイルス感染拡大による減便・運休で、ソウル線が前年同月比▲68.3%、上海線が同▲90.7%、台北線が同▲41.9%となった。

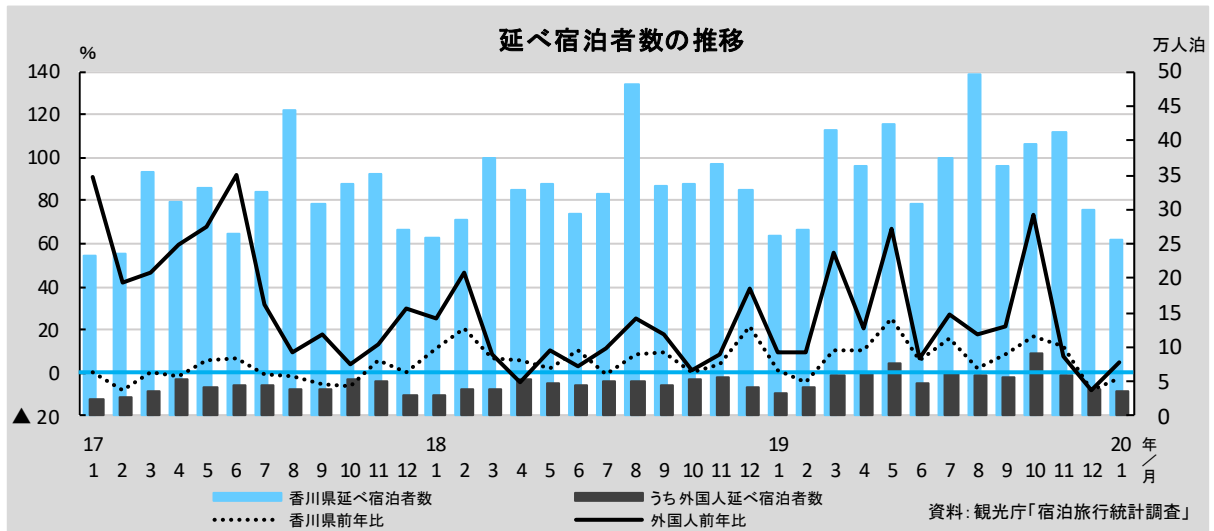
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	ニューレオマワールド	合計
2月(人)	前年同月比	40,481 ▲28.7%	42,863 ▲41.7%	54,000 ▲17.4%	67,130 ▲2.5%	57,538 ▲0.8%	262,012 ▲0.8%
1~2月累計(人)		84,482 ▲18.1%	97,638 ▲23.6%	646,000 ▲2.7%	140,445 ▲1.4%	127,652 ▲1.3%	1,096,217 ▲1.2%

2月の主要観光地(ニューレオマワールド含む)の入込客数は、前年同月比+0.8%と2カ月連続で増加。屋島は同+41.7%、琴平は同+17.4%と増加した。一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、栗林公園は国内外ともに来園者が激減し同▲28.7%となった。小豆島は▲2.5%、ニューレオマワールドも▲0.8%と減少した。

●延べ宿泊者数



1月の延べ宿泊者数は、255,550人で、前年同月比▲2.7%と2カ月連続で減少した。うち、外国人延べ宿泊者数は、35,960人となり、同+4.6%と2カ月ぶりに増加した。